

## フクシマ連隊キャラバン報告書

全港湾東北地方小名浜支部 江尻廉

私は、今回3月4日から6日の4日間フクシマ連隊キャラバンに参加してきました。4日は、結団式を行いました。初参加の人や、何度か参加したことがある人それぞれの意気込みや思いを、全員の前で発言し、良い雰囲気キャラバン活動始められました。5日は、被災地フィールドワークと津島の家見学を行いました。被災地フィールドワークでは、2年ぶりに講師の方を務めさせていただきました、今の福島県の現状、当時の状況、復興は終わっていないということを、全国の人たちに伝えてきました。久々に講師の方をやらせていただき、力不足の面もあったのですが、自分の中で精一杯力の限りやることができました。津島の家見学では、当時の状態のまま残っているものを見学させていただきました。15年経った今でもこのような状態で残っているという事実、復興はまだまだ終わっていないという現実を痛感しました。

6日は、茨城要請行動の方に参加させていただきました。各市町村の市役所に行き、要請文を読み、その後質疑応答の時間を設けていただきました。質問のほうは主に、災害時の避難経路についてと、原発再稼働についてどのような考えがあるのか、この二つを聞いてきました。避難経路については、広域避難計画が作成済みだが、これから実効性を高めるといところ、避難訓練を実施しているところ様々でした。原発の再稼働については、反対してくれているところもありました。全ての市町村が反対を支持してくれていたわけではないので、自分たちは今後も原発の恐ろしさ、原発事故による被害などを伝えていかなければいけないと強く思いました。

7日は、代々木公園で「サヨナラ原発全国集会」を行いました。全国から集まった人たちに、フクシマ連隊キャラバンが、どのような活動をしてきたのか、反原発についてどのような考えを持っているのかを、伝えてきました。

今回初めて全日程で参加させていただきました。私がこの4日間で感じたことは、原発は絶対に再稼働させてはいけないということ、復興は終わっていないということです。私達の目標は原発をなくすことだと思います。その目標のためにも今後のキャラバン活動、全国の仲間たちとともに盛り上げていきたいです。